

地域医療連携部

1. スタッフ

部長 医師（兼務）	1名
副部長 看護師	1名
副部長 事務（兼務） （病診連携室）	1名
事務	4名
事務（兼務） （総合相談室）	1名
医療ソーシャルワーカー	6名
臨床心理士	1名
精神保健福祉士	1名
事務 （看護支援室）	1名
保健師	1名
看護師	2名

2. 地域医療連携部の特徴

地域医療連携部は平成20年4月1日付で、これまでの医事課病診連携室、看護部看護支援室、事務部医療福祉相談室を発展的に統合再編し、機能を強化するとともに病院長直轄の部署となった。

組織の再編は、今日の医療が各医療機関のみでは自己完結できず、地域全体で連携・分担する事によって問題を解決する「地域完結型」体制が重要であることから、地域医療連携の充実・強化することを目的に実施した。全ての職種が地域と向き合わなければ、実効性は上がらないと考え、医師、看護師、事務職員、MSWからなる体制を構築した。まずは、地域の実情を把握することが必要と考え、連携医療機関のデータベースを構築する活動を開始した。

また、本院の手術件数が極限状況にある今、手術適応患者の2次医療機関への誘導が喫緊の課題であると考え、ご紹介頂いた医療機関や患者さんに本院の現況の理解を求めている。さらに外来患者数を適正化するため、脳卒中、心筋梗塞などについて地域連携クリティカルパスを作成し、継続した医療を提供できる環境を確立する活動も既に始めている。

3. 業務内容

(1) 病診連携室

病診連携室では、地域の病院・医院と当院が患者様を治療する上でスムーズに連携が図られるよう次のような業務を担当している。

①紹介患者が当院に受診した旨を紹介元（病院・医院）へ報告

- ②開業医からのFAXによる紹介患者の予約受付
- ③紹介元へ担当医が返事をだしているかのチェック
- ④当院と連携のある病院・医院への「認定書」の交付
- ⑤紹介状を基に医師会別・診療科別に月報、年報の作成
- ⑥本院を退職した医師を対象とした「医師同門会」の庶務
- ⑦その他、地域の病院・医院からの相談、苦情等への対応

(2) 総合相談室

総合相談室では、疾病に伴って起こる経済的・社会的・心理的問題を、患者・ご家族の皆様と一緒に軽減・解消し、患者さんや家族が安心して療養生活や退院生活を送れる様に、専門員（医療ソーシャルワーカー）がご相談をお受けしている。

例えば、

- ①医療費や入院生活に不安がある場合
- ②通院又は入院中のご家族の生活や仕事について不安がある場合
- ③退院後の療養生活について不安がある場合
- ④どんな福祉サービスがあるかを知りたい場合
- ⑤各種施設、医療機関等の利用方法を知りたい場合
- ⑥病气や治療に心配や不安がある場合

(3) 看護支援室

看護支援室では、病院から在宅医療に移行する患者様が継続して安定したケアを受けられ、安心して自宅療養ができるよう患者様はもちろんご家族への支援をしている。

あわせて先進医療である臓器移植に関する相談にも対応している。

主な業務としては、

- ①転院支援に関する事
- ②在宅支援に関する事
- ③在宅医療相談に関する事
- ④看護・介護支援に関する事
- ⑤臓器移植に関する事

4. 地域医療連携部の実績（データ）

（平成20年1月～12月）

①診療科別紹介率一覧	……………	P153
②医師会別・県別紹介件数一覧	……………	P154
③医師会別・県別逆紹介件数一覧	……………	P155
④診療科別紹介患者件数一覧	……………	P156
⑤診療科別逆紹介患者件数一覧	……………	P156
⑥総合相談室データ	……………	P157
⑦看護支援室データ	……………	P160

5. 事業計画・来年の目標等

地域医療連携部の平成21年の活動方針は次のとおりである。

(1) 第3次医療機関（特定機能病院）としての機能を
図ること

- 具体的には、①入院患者の早期退院、転院を推進
②手術適応患者の2次医療機関への誘導推進
③急性期を過ぎた患者の紹介元への逆紹介の推進

(2) 4疾病における地域連携の構築

- 具体的には、①地域連携パスの構築と推進
②栃木県保健医療計画への対応

(3) 安心して地域で生活できる環境づくり支援

- 具体的には、①退院支援の充実（相談支援の充実）
②継続的な生活支援の強化
③行政機関との連携
④移植に関する支援

(4) 地域医療情報システムの構築

①診療科別紹介率一覧

月 区 分 科 名	合計	
	紹介率 (%)	
	医療法	健康保険法
総合診療部	32.2	21.2
循環器内科	83.6	72.7
消化器・肝臓内科	70.3	54.2
呼吸器内科	71.2	52.0
神経内科	70.8	59.6
血液科	70.7	55.5
内分泌代謝科	80.5	65.3
アレルギー・リウマチ科	77.9	62.7
腎臓内科	78.1	56.9
臨床腫瘍科	90.6	82.4
感染症科	3.8	4.4
緩和ケア科	100.0	187.5
(内科小計)	69.6	52.6
皮膚科	50.0	42.3
放射線科	99.7	97.4
精神科	57.3	39.7
小児科	39.3	48.3
子どもの心の診療科	47.4	51.1
心臓血管外科	81.9	69.8
小児・先天性心臓血管外科	76.7	36.4
呼吸器外科	74.8	67.1
消化器外科	84.9	78.0
乳腺・総合外科	72.8	54.6
腎臓外科	87.3	90.0
形成外科	64.0	57.8
美容外科	12.0	-
小児外科	72.8	74.7
移植外科	90.6	62.5
(外科小計)	77.6	67.7
脳神経外科	69.6	66.6
小児脳神経外科	61.8	57.7
整形外科	59.7	38.4
小児整形外科	62.2	60.1
産科	87.0	88.8
婦人科	54.6	42.1
泌尿器科	65.8	53.5
小児泌尿器科	77.4	75.0
耳鼻咽喉科	58.8	47.8
眼科	91.9	85.6
麻酔科	55.3	37.3
歯科口腔外科	53.7	49.6
リハビリテーション科	50.0	11.1
救命救急センター	98.6	116.9
合 計	65.4	54.8

《紹介率計算式》

- A 紹介患者数
- B 他の病院又は診療所に紹介した患者数
- C 救急車によって搬入された患者数
- D 初診患者数
- E 時間外・休日・深夜に受診した6歳未満の初診患者数

(医療法上)

$$\frac{A + B + C}{B + D}$$

(健康保険法上)

$$\frac{A + C}{D - E}$$

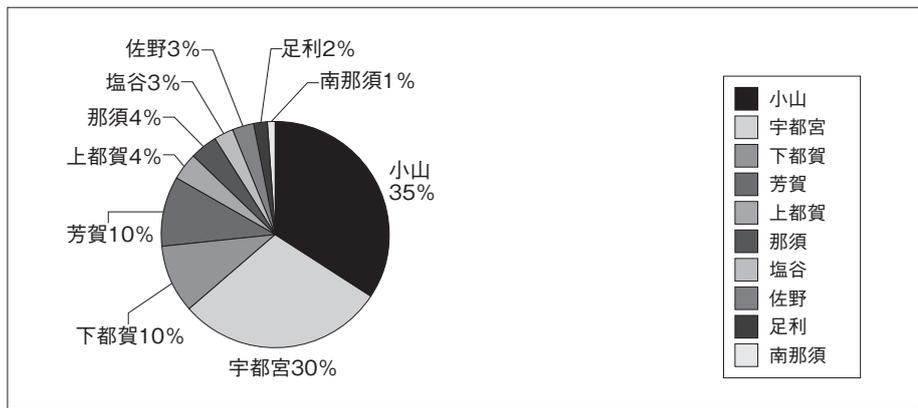
(注意)

医療法上は紹介患者数及び初診患者数の自費患者数を含む
健康保険法上は健康保険適用患者のみをカウント

②医師会別・県別紹介件数一覧

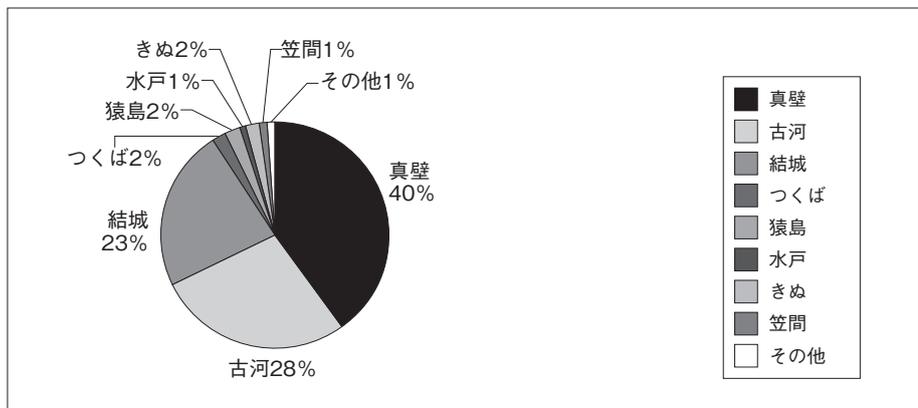
医師会別紹介件数(栃木県)

地区	累計	
	件数	%
小山	8,513	35
宇都宮	7,285	30
下都賀	2,362	10
芳賀	2,450	10
上都賀	882	4
那須	864	4
塩谷	750	3
佐野	627	3
足利	371	2
南那須	254	1
合計	24,358	100



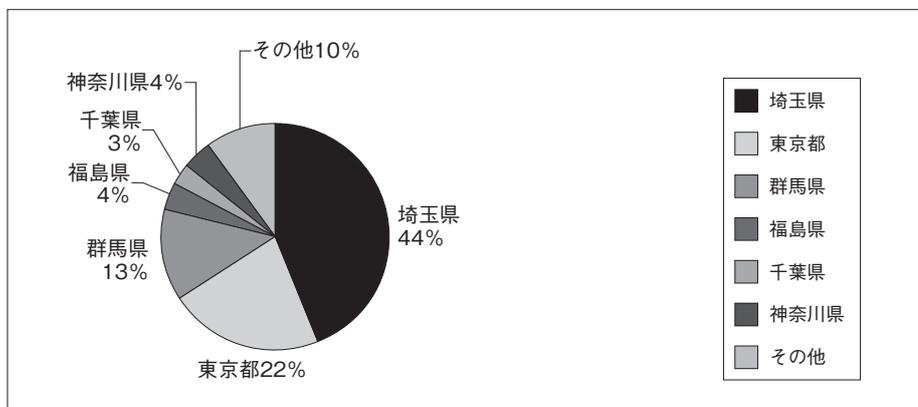
医師会別紹介件数(茨城県)

地区	累計	
	件数	%
真壁	2,460	40
古河	1,696	28
結城	1,425	23
つくば	102	2
猿島	137	2
水戸	91	1
きぬ	100	2
笠間	35	1
その他	55	1
合計	6,101	100



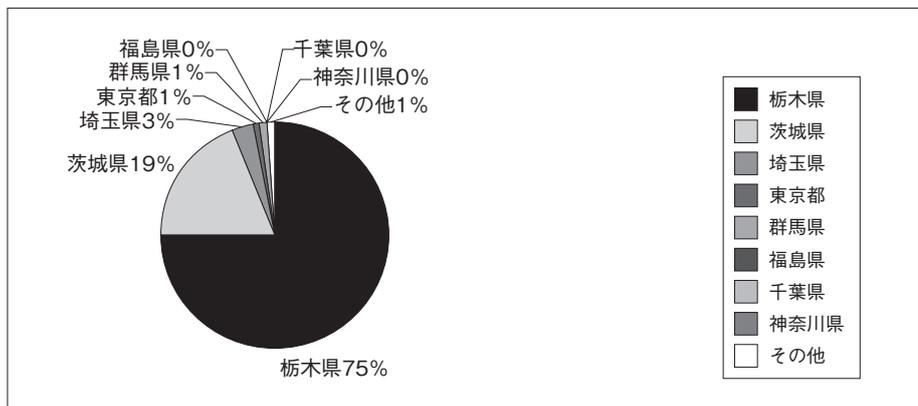
県別紹介件数(他県)

地区	累計	
	件数	%
埼玉県	820	44
東京都	418	22
群馬県	248	13
福島県	81	4
千葉県	48	3
神奈川県	68	4
その他	186	10
合計	1,869	100



県別紹介件数

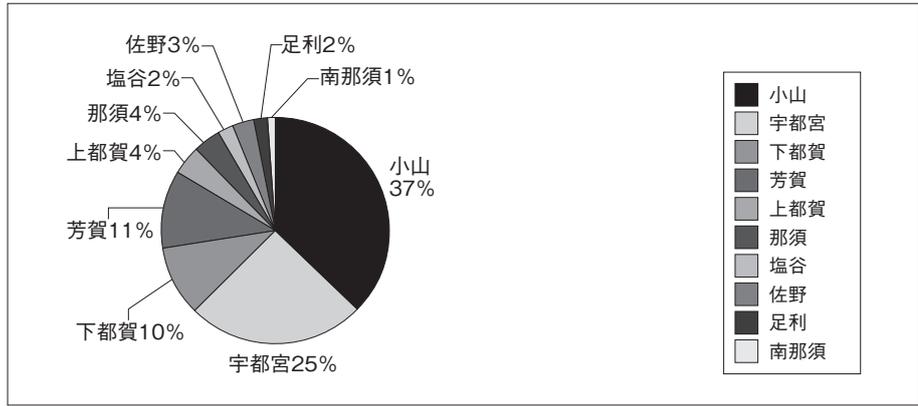
地区	累計	
	件数	%
栃木県	24,358	75
茨城県	6,101	19
埼玉県	820	3
東京都	418	1
群馬県	248	1
福島県	81	0
千葉県	48	0
神奈川県	68	0
その他	186	1
合計	32,328	100



③医師会別・県別逆紹介件数一覧

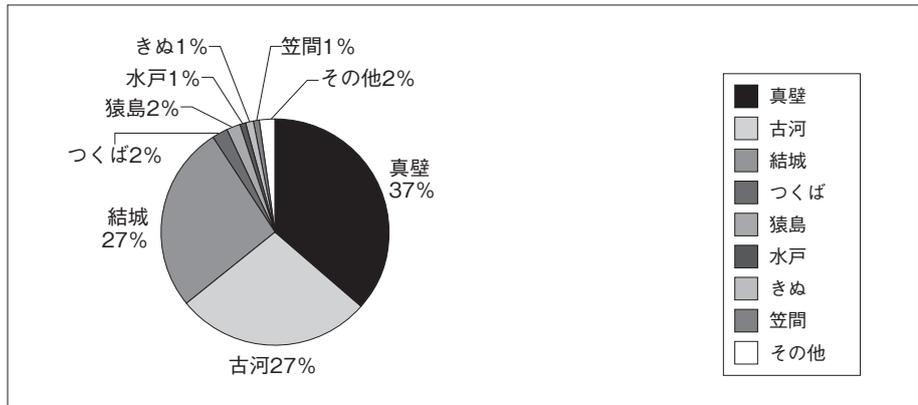
医師会別逆紹介件数(栃木県)

地区	累計	
	件数	%
小山	6,385	37
宇都宮	4,264	25
下都賀	1,750	10
芳賀	1,909	11
上都賀	724	4
那須	721	4
塩谷	341	2
佐野	587	3
足利	289	2
南那須	222	1
合計	17,192	100



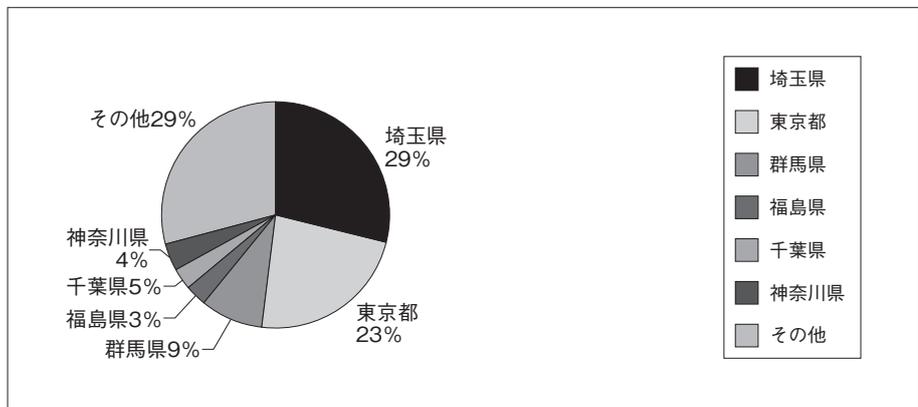
医師会別逆紹介件数(茨城県)

地区	累計	
	件数	%
真壁	1,553	37
古河	1,156	28
結城	1,133	27
つくば	97	2
猿島	91	2
水戸	28	1
きぬ	26	1
笠間	36	1
その他	70	2
合計	4,190	100



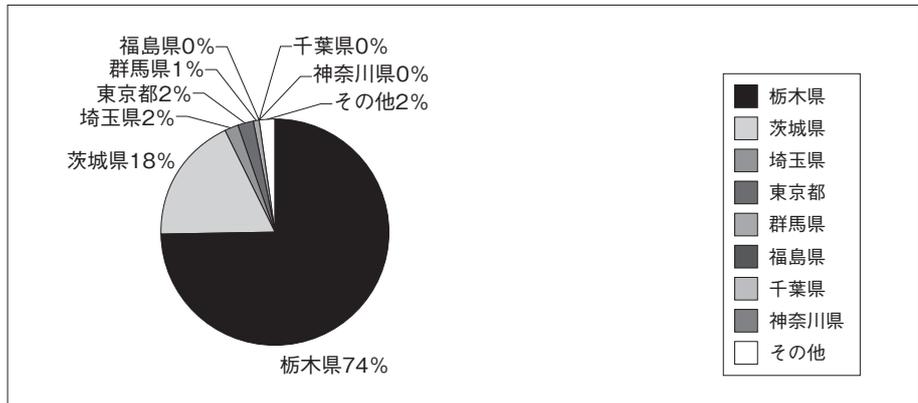
県別逆紹介件数(他県)

地区	累計	
	件数	%
埼玉県	568	29
東京都	466	23
群馬県	177	9
福島県	62	3
千葉県	55	3
神奈川県	88	4
その他	576	29
合計	1,992	100



県別逆紹介件数

地区	累計	
	件数	%
栃木県	17,192	74
茨城県	4,190	18
埼玉県	568	2
東京都	466	2
群馬県	177	1
福島県	62	0
千葉県	55	0
神奈川県	88	0
その他	576	2
合計	23,374	100



④診療科別紹介患者件数一覧

診療科名	件数(件)	%
総合診療部	773	2.4%
消化器・肝臓内科	2,310	7.1%
循環器内科	1,970	6.1%
神経内科	1,178	3.6%
呼吸器内科	1,045	3.2%
血液科	608	1.9%
アレルギー・リウマチ科	856	2.6%
内分泌代謝科	873	2.7%
腎臓内科	494	1.5%
内科小計	10,107	31.3%
緩和ケア科	34	0.1%
臨床腫瘍科	68	0.2%
感染症科	5	0.0%
精神科	499	1.5%
小児科	1,890	5.8%
子どもの心の診療科	119	0.4%
小児外科	389	1.2%
小児・先天性心臓血管外科	16	0.0%
小児脳神経外科	25	0.1%
小児整形外科	165	0.5%
小児泌尿器科	210	0.6%
子ども医療センター	2,814	8.7%
乳腺・総合外科	825	2.6%
腎臓外科	92	0.3%
消化器外科	1,225	3.8%
形成外科	360	1.1%
心臓血管外科	589	1.8%
呼吸器外科	190	0.6%
移植外科	41	0.1%
美容外科	14	0.0%
外科小計	3,336	10.3%
脳神経外科	763	2.4%
整形外科	1,395	4.3%
皮膚科	1,541	4.8%
泌尿器科	1,085	3.4%
眼科	2,890	8.9%
耳鼻咽喉科	2,045	6.3%
産科	869	2.7%
婦人科	1,246	3.9%
産婦人科小計	2,115	6.5%
放射線科	533	1.6%
麻酔科	61	0.2%
リハビリテーション科	9	0.0%
歯科口腔外科	2,353	7.3%
救命救急センター	675	2.1%
合計	32,328	100.0%

(当院での紹介件数の考え方)

当院では医療機関から紹介された件数を紹介件数としています。

⑤診療科別逆紹介患者件数一覧

診療科名	件数(件)	%
総合診療部	471	2.0%
消化器・肝臓内科	1,865	8.0%
循環器内科	2,354	10.1%
神経内科	1,033	4.4%
呼吸器内科	1,018	4.4%
血液科	505	2.2%
アレルギー・リウマチ科	840	3.6%
内分泌代謝科	945	4.0%
腎臓内科	1,136	4.9%
内科小計	10,167	43.5%
緩和ケア科	54	0.2%
臨床腫瘍科	213	0.9%
感染症科	29	0.1%
精神科	489	2.1%
小児科	807	3.5%
子どもの心の診療科	32	0.1%
小児外科	162	0.7%
小児・先天性心臓血管外科	10	0.0%
小児脳神経外科	17	0.1%
小児整形外科	32	0.1%
小児泌尿器科	19	0.1%
子ども医療センター	1,079	4.6%
乳腺・総合外科	575	2.5%
腎臓外科	93	0.4%
消化器外科	1,659	7.1%
形成外科	118	0.5%
心臓血管外科	536	2.3%
呼吸器外科	135	0.6%
移植外科	36	0.2%
美容外科	4	0.0%
外科小計	3,156	13.5%
脳神経外科	506	2.2%
整形外科	1,529	6.5%
皮膚科	587	2.5%
泌尿器科	492	2.1%
眼科	1,785	7.6%
耳鼻咽喉科	1,182	5.1%
産科	201	0.9%
婦人科	621	2.7%
産婦人科小計	822	3.5%
放射線科	111	0.5%
麻酔科	57	0.2%
リハビリテーション科	12	0.1%
歯科口腔外科	628	2.7%
救命救急センター	476	2.0%
合計	23,374	100.0%

(当院での逆紹介件数の考え方)

通常は紹介元(診療所等)へ紹介する場合を逆紹介として扱っておりますが、当院では医療機関へ紹介した件数を逆紹介件数としております。

⑥総合相談室データ

(平成20年1月～12月)

【一般相談/がん相談/こどもの相談】

実人数

	入院	外来	計	外国人		虐待	誓約	計
				有	無			
新規ケース	924	612	1,536	11	4	25	465	505
再規ケース	83	66	149	2	1	11	39	53
継続ケース	2,450	1,440	3,890	75	14	358	198	645
計	3,457	2,118	5,575	88	19	394	702	1,203

年齢別【新規・再規】

		0～20	21～40	41～65	66～75	76～	不詳	計
入院	男	61	54	173	113	57	12	470
	女	64	232	115	61	57	8	537
外来	男	49	27	89	54	36	59	314
	女	54	125	95	34	28	28	364
計		228	438	472	262	178	107	1,685
%		13.5	26.0	28.0	15.5	10.6	6.4	100.0

年齢別【継続】

		0～20	21～40	41～65	66～75	76～	不詳	計
入院	男	398	68	414	308	140	5	1,333
	女	321	273	224	141	154	4	1,117
外来	男	217	139	215	116	26	17	730
	女	234	256	151	43	23	3	710
計		1,170	736	1,004	608	343	29	3,890
%		30.1	18.9	25.8	15.6	8.8	0.7	100.0

紹介経路別【新規・再規のみ】

	本人	家族	医師	看護師	職員	行政	他機関	他	計
入院	259	281	249	133	56	14	14	1	1,007
外来	263	176	116	36	22	30	33	2	678
計	522	457	365	169	78	44	47	3	1,685
%	31.0	27.1	21.7	10.0	4.6	2.6	2.8	0.2	100.0

保険別【新規・再規のみ】

	国保	社保			生保	労災	公費	その他	不明	計
		政府	組合	共済						
入院	451	206	137	35	0	13	3	0	58	1,007
外来	272	90	47	26	2	9	0	0	25	678

方法別

		新・再	継続	計
面接		1,769	3,376	5,145
電話		1,392	5,958	7,350
訪問		8	8	16
文書		17	149	166
その他		12	12	24

対象者

	新・再	継続	計	%
本人	828	1,016	1,844	11.7
家族	1,115	1,794	2,909	18.5
CT関係者	147	711	858	5.4
院内職員	1,367	5,633	7,000	44.4
関係機関	493	2,578	3,071	19.5
①医療機関	213	679	892	
②施設	7	139	146	
③在宅関係	48	327	375	
④行政	161	1,171	1,332	
⑤訪問看護	11	83	94	
⑥その他	53	179	232	
その他	35	33	68	0.4
計	3,985	11,765	15,750	100.0

時間

	新・再	継続	計	%
30分未満	1,080	2,235	3,315	59.5
30～1時間	421	1,181	1,602	28.7
1～2時間	142	393	535	9.6
2時間以上	21	102	123	2.2
計	1,664	3,911	5,575	100.0

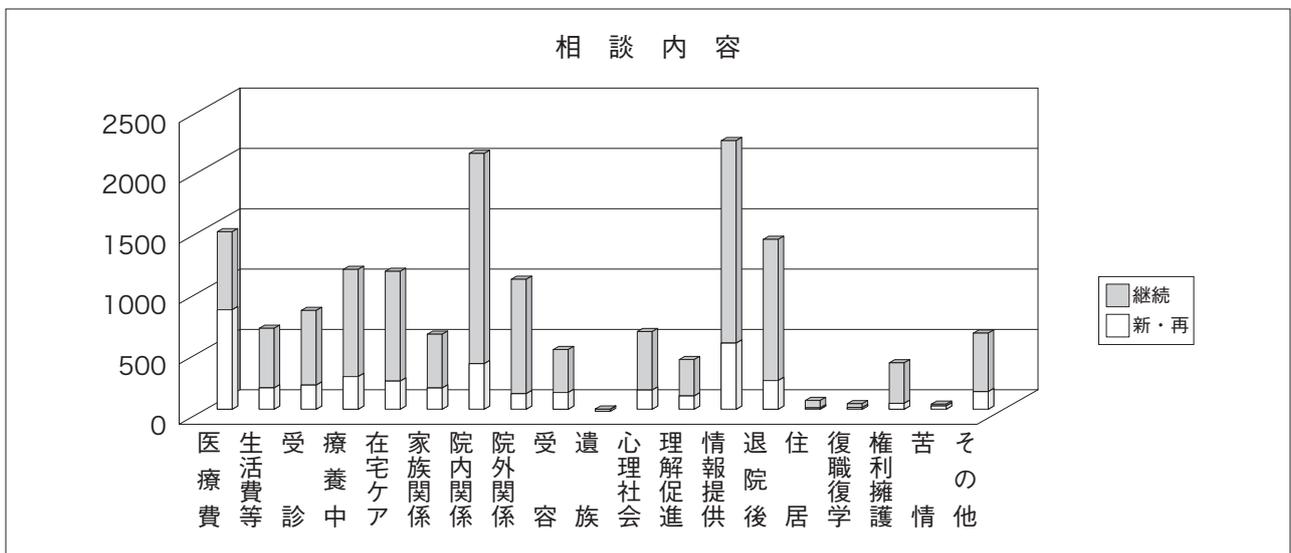
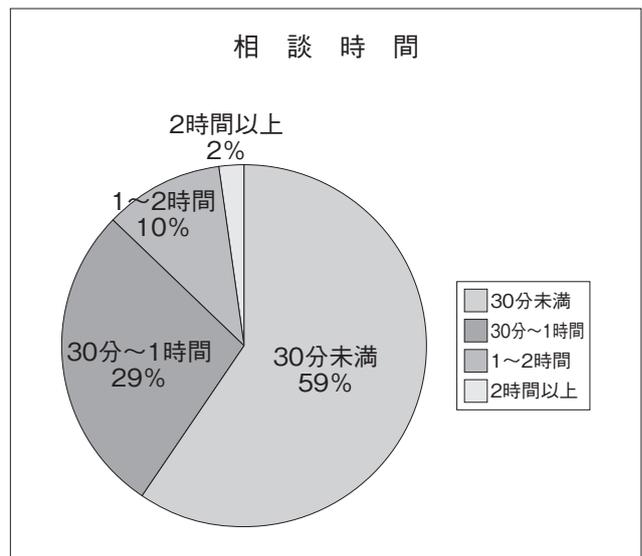
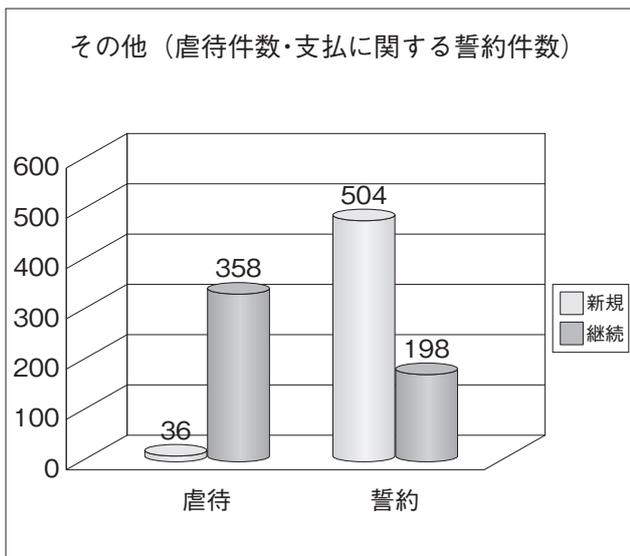
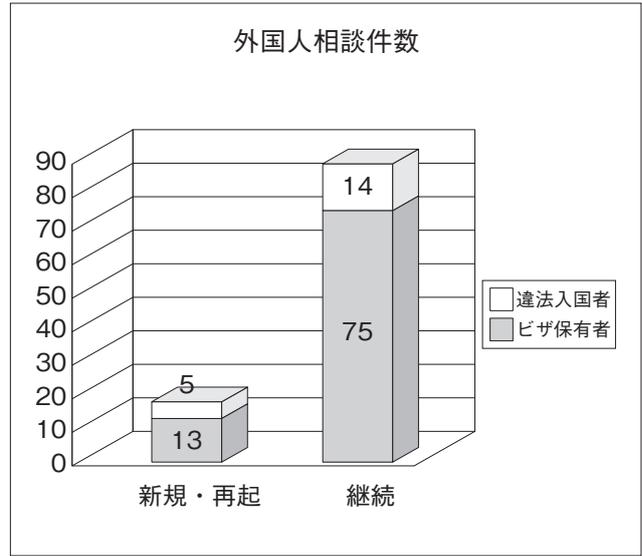
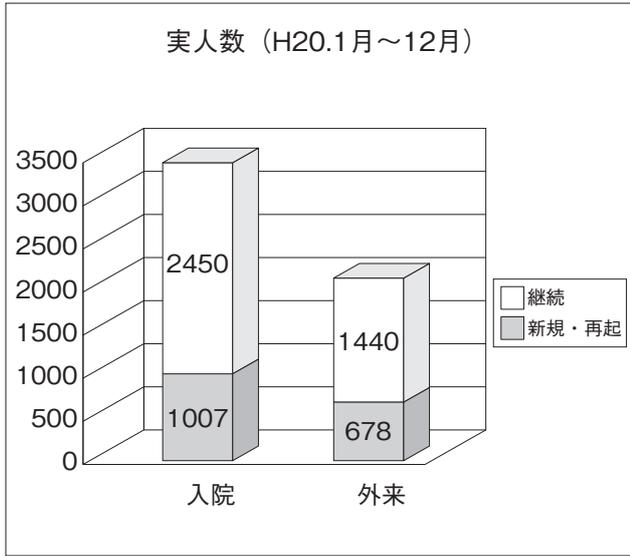
相談内容

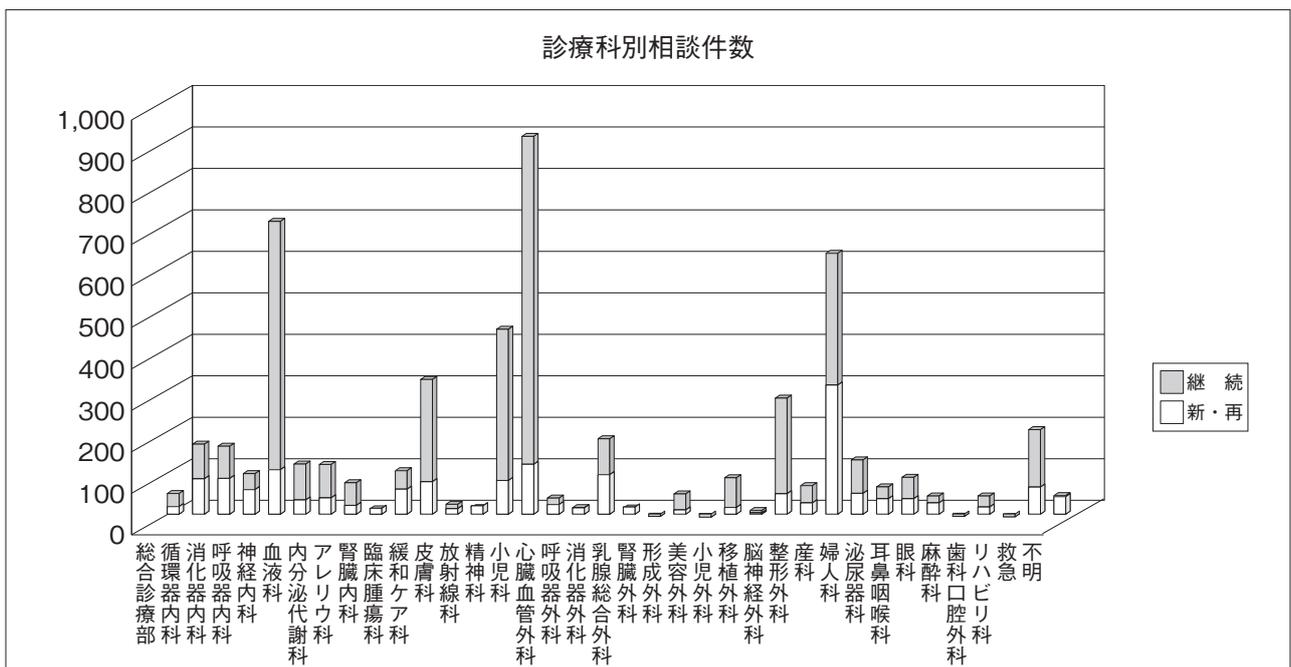
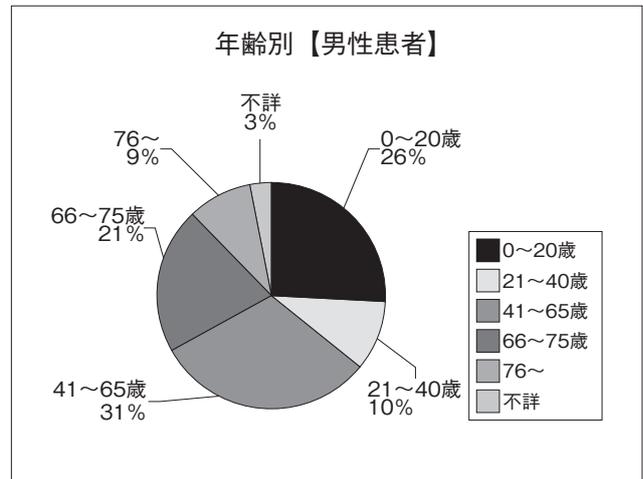
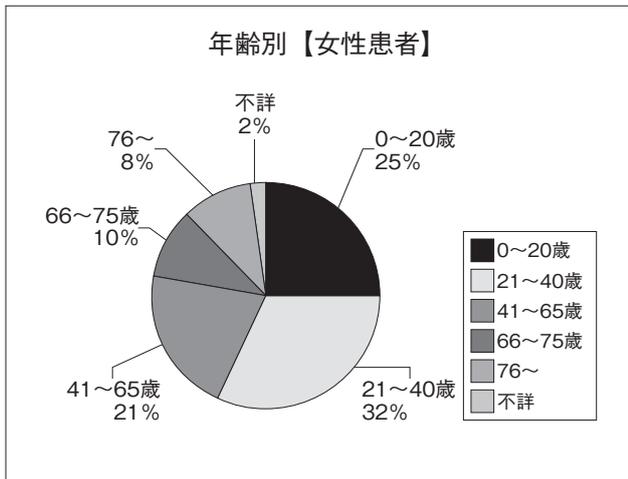
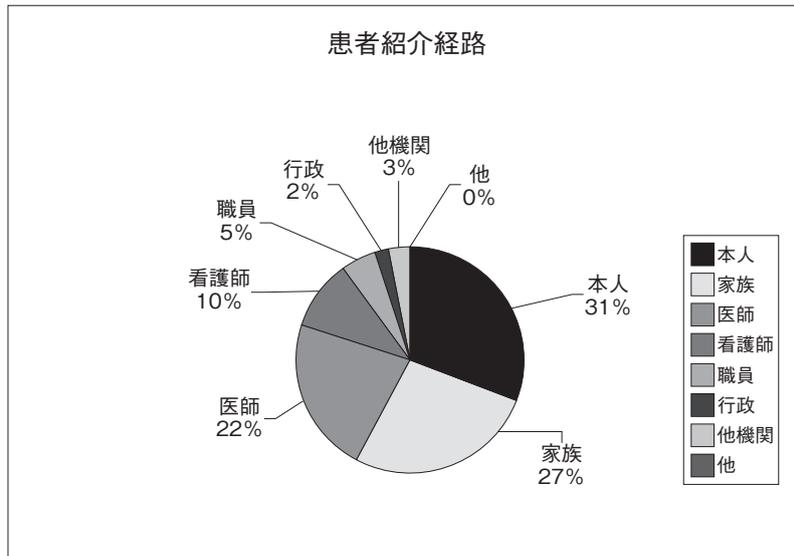
	新・再	継続	計	%
医療費	824	673	1,497	9.4
生活費等	176	521	697	4.4
受診(当・他)	199	646	845	5.3
療養中	270	915	1,185	7.4
在宅ケア	232	937	1,169	7.3
家族関係	175	473	648	4.1
院内関係	377	1,769	2,146	13.5
院外関係	128	975	1,103	6.9
受容	138	383	521	3.3
遺族	1	8	9	0.1
心理社会	158	512	670	4.2
理解促進	109	329	438	2.8
情報提供	547	1,705	2,252	14.1
退院後	237	1,197	1,434	9.0
住居	10	89	99	0.6
復職復学	13	59	72	0.5
権利擁護	48	363	411	2.6
苦情	26	42	68	0.4
その他	145	512	657	4.1
計	3,813	12,108	15,921	100.0

診療科別

	新・再	継続	計	%
総合診療部	18	39	57	1.0
循環器内科	85	91	176	3.2
消化器内科	86	85	171	3.1
呼吸器内科	59	46	105	1.9
神経内科	107	608	715	12.8
血液科	34	94	128	2.3
内分泌代謝科	39	88	127	2.3
アレリウ科	21	62	83	1.5
腎臓内科	14	6	20	0.4
臨床腫瘍科	60	52	112	2.0
緩和ケア科	78	254	332	6.0
皮膚科	13	18	31	0.6
放射線科	20	3	23	0.4
精神科	81	372	453	8.1
小児科	120	798	918	16.5
心臓血管外科	23	23	46	0.8
呼吸器外科	15	8	23	0.4
消化器外科	95	94	189	3.4
乳腺・総合外科	17	5	22	0.4
腎臓外科	2	0	2	0.0
形成外科	10	46	56	1.0
美容外科	0	1	1	0.0
小児外科	16	79	95	1.7
移植外科	3	13	16	0.3
脳神経外科	49	238	287	5.1
整形外科	27	49	76	1.4
産科	311	325	636	11.4
婦人科	50	88	138	2.5
泌尿器科	37	36	73	1.3
耳鼻咽喉科	37	59	96	1.7
眼	27	24	51	0.9
麻酔科	2	0	2	0.0
歯科口腔外科	17	34	51	0.9
リハビリ科	1	0	1	0.0
救急	65	146	211	3.8
不明	42	10	52	0.9
計	1,681	3,894	5,575	100.0

平成20年1月～12月（一般・がん相談・子ども医療センター含む）統計の内訳



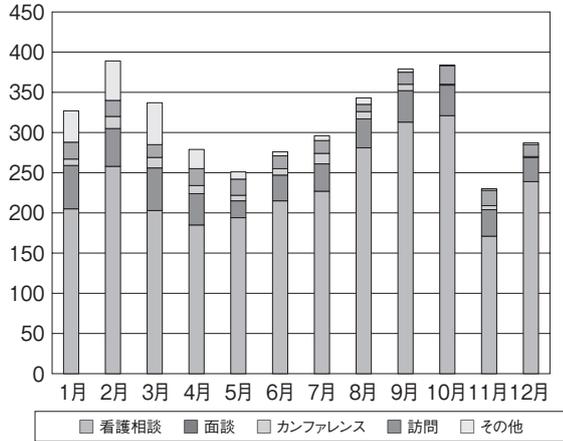


⑦看護支援室データ

業務実績（本館・新館）

平成20年1月～12月までの対応総件数は3,778件である。

＜業務内容 月別延べ件数＞



看護相談：患者・家族・医療者等からの電話相談・依頼・情報共有

面談：面接

カンファレンス：在宅移行支援者会議

訪問：訪問看護

その他：苦情、診察同席など

全体として2・9・10月と件数が多いが大きな要素は考えにくい。しかし、4～6月と減少しているのは、4月から新しい部署が発足されたことに関連し、従来と相談依頼方法が変わった事が影響している事が考えられる。啓蒙活動が不十分で相談件数が伸び悩んでいたが、JUMPメールや各病棟への説明会を通し、徐々に浸透されてきたため、7月以降は増加した。面談・カンファレンス・訪問の件数は年間通してほぼ一定している。看護相談では入院時スクリーニングの依頼による在宅移行支援の介入が約9割を占め、訪問看護師・在宅医・ケアマネージャー・行政等との連絡調整を行っている。残り約1割は継続看護（レスパイト相談・他科受診相談・精神的援助・介護制度の相談等）と、単発では身体障害者手帳等級変更に伴う機器の導入相談等も対応している。

＜対応平均時間＞

看護相談	面談	カンファレンス	訪問
13～14分	37分	56分	42分

業務内容の内訳として看護相談が全体の約74%と約4分の1を占め、それに続き面談が12%、訪問が6%、カンファレンスが3%となっている。

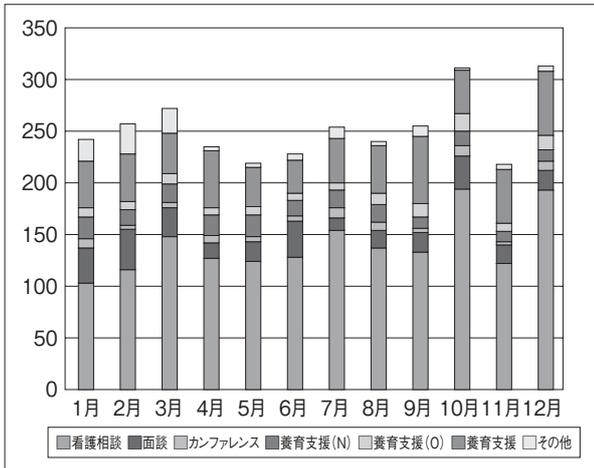
看護相談の内容は日常生活に関する事、困っていることや心配していること、医療的ケアトラブルに関する事、在宅療養移行支援等様々で、依頼者も患者本人・家族、訪問看護師・医師・保健師等々となっている。多種多様な相談に対して、関係機関・関係職種との情報共有し対応している。在宅療養支援・在宅療養移行支援では、患者本人を始め、その方を支える家族が少しでも不安なく病院での入院生活から在宅療養へとシームレスな支援が提供出来るようにすることが大切である。患者・家族が在宅療養をイメージ出来るよう適切な情報を提示し、意思決定が出来るような関わりも重要となる。院内スタッフと地域支援者と必要に応じて支援者カンファレンスを実施し、協働していかなければならない。退院調整を実施する際、早期介入が出来るようなシステムづくりが重要と言われ、今後は問題発生時からではなく、早期退院・転院の促進に向けて介入していく必要がある。さらに同時に地域医療連携部の介入でどの程度退院までの時間が短縮されたか評価出来ていないため、今後は検証していきたい。

支援室の業務の中に今年度5月からは循環器センターにおける外来診療サポートを実施している。循環器センター3人の医師の外来診療（週3回）時に実施し、外来診療における機能分化を推進するために具体的にはかかりつけ医の促進を実施した。緊急時の場合には当院で対応する事を患者・家族に説明し、納得してもらった上でかかりつけ医の紹介をしてきた。かかりつけ医を紹介していくためには、クリニックの情報を把握する事が大切であり、現在病診連携室と共同し医療機関の病院情報システム作成に取り組んでいるところである。

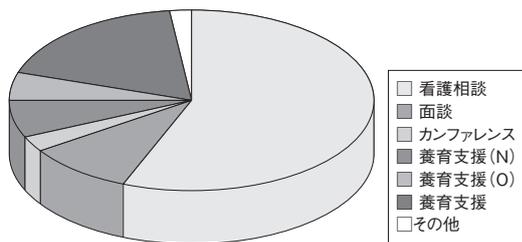
業務実績（子ども医療センター・周産期センター）

平成20年1月から12月までの対応件数は2,970件である。前年度に比べ60件増で、年々増加傾向にある。相談内容は看護相談、療育相談、育児相談、受診相談など様々である。

<対応延べ件数H20. 1月～12月>



<相談内容>



- 看護相談：患者・家族・医療者等からの電話相談
- 面談：面接
- カンファレンス：在宅移行支援者会議
- 訪問：訪問看護
- 養育支援（N・O）：栃木県総合養育支援事業
- 養育支援：育児支援が必要な家庭の地域との電話相談・依頼・情報共有
- その他：苦情、診察同席など

10月・12月の対応件数が多くなっている。特に看護相談が多く、内容として2つの要因が考えられる。①在宅移行時の家族調整・環境調整・地域での支援調整などが困難なケースが多いこと②季節に関連した疾患の増加に伴い、吸入器・吸引器等の医療機器購入相談が多かった③養育環境整備・養育支援調整のため院内・地域関係者との連携回数が多かったと考えられる。

人工呼吸器装着、気管切開、経管栄養（経鼻・胃瘻・腸瘻）、中心静脈カテーテル留置、人工肛門、皮膚膀胱瘻、在宅酸素療法など高度な医療的ケアを必要とする患児は増加している。また在宅療養を希望される家族も増加傾向にある。患児・家族が安心して在宅療養生

活が送れるように、入院中から病棟スタッフ・MSW・多職種と連携し在宅移行支援を行っている。現在子ども医療センターで管理している在宅人工呼吸器患児は20名（うちBIPAP6名）で、在宅移行中の患児は2名である。

小児を受け入れてくれる訪問看護ステーション・在宅医は少なく、地域によって偏りがある状況は依然として続いている。しかしケースを通して、訪問看護ステーションと開業医の抱える不安に対して、医療機器の勉強会の実施や、来院して頂き看護ケアの見学実施を行っていただくなどして、今年度新規に4か所の訪問看護ステーションが小児を受けてくれた。

県の委託を受けて行っている栃木県総合養育支援事業で扱ったケースは309件で、他県に養育支援を依頼した件数は54件である。

これらのケースを継続的に地域と連携し支援している。

母親が精神疾患・若年・未妊健・飛び込み分娩・シングルマザー・多子・経済的困窮・DVを受けている等の問題を抱えるハイリスク育児ケースが急増している。今年度地域の保健師へ支援依頼したケースは77件であった。ハイリスク育児支援の会では、妊娠中から関係部署・関係機関と連携し、出産後の育児が安全に行えるよう支援体制を構築している。こうした連携支援が虐待予防に繋がっていくものと思われる。

小児虐待対策委員で対応する児が、安全な環境で健康な心と体の成長が出来るように、入院中に院内・地域関係者と連携し、養育環境・支援体制の構築支援を行っている。退院後は外来で継続的に地域と連携して支援を行っている。